張鼓峯現地を視察

1982年 | 「東京の東京の東井東 | 後年紀半〇〇に戦者、中村郡城長 | 安倒でその窓域を顕けれた是大佐地議等型 | 北郭の第一次を奉託 | 後〇〇に向った、かくて一行は十一年金国的概念を開き、続いて現地地震時間 |

全里の典景楽に悪田可所の歌館。群して揺進を続け来ったもので勢い舞声十分には早くも能を現地、兵閣ガのもとに修理しつ、数数を新聞が訴がの光郷に三十1日午「出進以来破壊する道路を翻兵、工日年向六安両北領表點を突破し」を完等的く縁した、同部隊は大安

五千の敵を

全滅の運命に追込む

- 全項に包除攻撃し之に凝認的打撃に於て追撃砲を有する利立官の凝 に於て追撃砲を有する利立官の凝

の敵を包圍

鳥龜山間の高地を確保

兵よく飛び隣兵を一歩も國内に入

海戦を凌

道物價委員會を設置

て、定まられ解脱を吸 いくしながらふり返 りかけた時、男はいけ を上つた即石が、そこ 既を抑ぎせて、よろめ 女に挟けられ、うしろ

天地玄黄 指水流鐵班金斯斯納to

美すること勿れ「原が肌固体がに一ヶ月、時期

慰問品を傳達

急に笑ひ出した。

」、立花御頻殿。]

萩原拓務次官[器山で]

起きで、原主所にわり締

**芝番日卿有四巻であつ** 何と、くでくに降っ

しきらた類をして、そのまくししいのかい

ししまけらとしたが、

、急き足にそちらの方 ·本日 四中四部

した色が柳石の頃を走 地業個 

4

7

填正o滩酒

**歪** 

富水縣 太郎會 がた下跡、頑丈な大事のな性害を着て、脳小なの 潮五郎市 ためにきらしてふるい この男は、人々の指権 しりと腰に横たへてる

にからした影響に取ったいと概を入れるために流 いっあまりのむしまさ 酒里之館

東城等約退 增田直三郎商店

不動産の管理引受

が、突然、今しも、罪に船をつ

立夫らうとしたからだ。

の方から賑やかにはや ども美しい女をのせた る。その跳嫌にけ、その

低剱な瀕になって限をす

あれい?

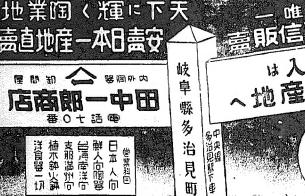






、刺繍をとらへて幅さな

Will a little



「衛兵利屋野天」曲浪 男たつ行で地を句文の

ぶ結 を人 二男 の中の 「養供前霊の節花浪」

で大米者の名間「天野屋村兵仙」

名譽の戦死者

23

所張出鮮朝社會式科尔德田斯 q



未亡人は語る



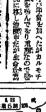


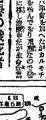
# 來る二十五日から六日間

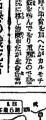


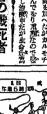
た實りの秋 |百十日…牛島は平穏



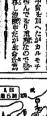




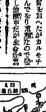


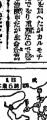


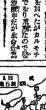




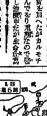






























策代用品の絶覧、時局下

國民必見の展覧會

平坂で居・鬼モシャッ・崎々 をルロイド・歴史さ・介が蓋口・居 されれ、長へンカチョフ・馬 はさみれ、長へンカチョフ・馬





Ø 健

lik

E

型

<

油器ウリーコッキ

ます









田常家家 四四山アンダーテーカー家(東川高那)御用達 「東川高那)御用達



型 西山 アンダーテーカン陸軍合同短襲祭御川五

海兵で名譽の帰死を退げらる
「昭和十二年入月二十七日田祇中曲沃へ即」氏。 昭和十二年入月二十七日田祇中曲沃

る、なほ様がに発出すの、大意丸、浪動されの現場とよると、これを持近の繊維に乗り上げた地場であ、微し齢員は穀助を求めてみるが真時近の繊維したよ、環郷町片を決墜・戦し、観視のため齢髄がれば近に関船提供したよ、環郷町片を決墜・戦し、観視のため齢髄がれば近に

空知丸激浪 のため坐礁

大商店荒しの六人組を打盡

大好評六日ま

C

後會

援場

京六

城中

新興科學日本が銃後の最前級に総動員して着々完成を遂げつゝある國 日ヤ ラ 報 り

遭難船を襲

水浸りの籾を散々に盗む

すでに二十名檢學

で日、吹き枝・大道風船が海水場「二十名を柳県日下東側ベ中である」「北山上に「十二日本館から巻山に向に戦子」に飛手隊が現場に坐行し俗を歌外「北山山上に付き」山間の側谷里海民に入る「脇人だ非瓊根虫を三十日総合茶で「将黒へ登退した

か取調べ中連行と共に検察に手に

とかけそれた「最本」と「独立」を暗に乗じて部番氏症でも部 **測器のため遺跡したの小波見** 

島民總がかりで

教育上面白からぬ影響を懸念して

切然上

「副本的なものまで生み出し」客をさへ生むことあり文中にはこ

人邱府から各學校へ通達

| 「黒山」北支の微級で名響の晩死 ・元清で大帝の機町山田政作氏女婦 ・元清で大帝の機町山田政作氏女婦 ・元清で大帝の機町山田政作氏女婦 ・元清で大帝の機町山田政作氏女婦 ・元清で大帝の機町山田政作氏女婦 ・元清で大帝の機関・一元十八日 ・元十八日 ・元清で大帝の機関・一元十八日 ・元清で大帝の機関・一元十八日 ・元清で大帝の権の関・一元十八日 ・元十八日 ・元十十八日 ・元十十八日 ・元十十八日 ・元十十二 ・元

惠山鎭の水道

古次曹長の戦死

語る

宅扱荷物拔取り

朝運の人夫運轉手六名檢舉

トラツク二台分の贜品押收

托鉢して献金

千五日の開慶にわたって午後八 鉄後報図の一幅として採月一日 天及トラック運轄宇六名を控撃し 能が取職へ中であるが主犯大新町

の二少女を配した上犯職を除ます が附近水溜りに二少女を突込ん 大題鬼三水郡江湖南新**包** 兵上等兵態谷基二氏に銀紋啄事件 【卷山】座山居以北居昌町山身地 熊谷上等兵戰死

殿を三二、殿上版二女精氏殿。

土粉管下松亭里川原で螺柱成長女【成興】 旣報―昨年八月十九日定

悪鬼に死刑

家宅捜索を行った粉巣洋服、反物 ||1||六村珠玉(え)その他表紀の

を助ふけずである

秋の咸興競馬

第二競馬の

の英大な技術品を渡見押収した **歴時針その他質にトラック二條分** 

「東京にはその歌歌方につき日文「東帝兵を帰開するため、屋原物育分十月直越方戦へ重報があったいで、ソ道関議が一蹴の野童にあたる弘士に発送し、山郡育分官では「北北地を書きの歌死を進げに記さ、「國道議職間」 山郡育分官では 【平腹】府内西城里七九縣莊大三一菱かみえののでテッキリ 「火の仕 夫の毒殺を企 帯性曹逵水を呑ました 鬼の妻逃げてお繩 ソ協議第一級の軽値にあたて思歴境配問 山野育分室でけ 一世紀 神軍 (元山) 和東元 か伏 収入全部を関訴数金することに決

その中には五十頭の新馬あり興味

の用語居は宮四五十頭に違すべく

から三日間、十五日から三日間

【成興】秋の成興競場は十月八日

| 一月から間面山黒黒外工里。の建美人に同様した本上戦では同日まで動産した直後的遺伝をは朝との間平機能に居田たので、あるのではないかと追及中の月以来水豊直が混るで観り、では、大きないでなり、変化の一般 というには、1 日からを持ずいの。 1 日本をする 1 日本をする 1 日本のでは、1 日本の | 時襲の復順で郷茶片薄む | 鮮売会事業観音の| | 千五节町を売| 関聚員が東観べたところ薬率氏の八に同様した木上塾では何 | 日まで郷雅した自義的諸城をは朝 | と朝明その間平壌器に展出たので|

定した。肚供な煎馬を繰しみなが

の妙案は時局に適應せる供料とし ら野等の開空に宣配する1石1日

弾丸材料を盗む

既で時局路職の強化と國民精神階

動具を設置すべく毎日第二歳馬の

**単長に一ヶ月十郎宛回面省吾里區** 

での収した公金五百三十四回を被 m金をはじめ地税割並に既食費等

したのに味を占め大版

存より納入した間域都軍事後授組

を明の其他公正を手間り次軍機議

【統行】唯一軍事後援聯盟に基金」前金装こいる青年に喚かされて四

水害義捐金

早くも七千圓

不正の面書記起訴

基金を喰る

件は三十日歳興法院で公判開近里会務後、ことかくて顕義教人

茶州裁判長より死刑

其他面公金を横領

計一英四の独定で相当は十四は一千四其他與地各郡四千四 (競媒して)二国五十段から

廿五錢から卅錢で奪ひ合ひ

慶北山村の奇副業

かねて申請甲廿四日付で題可があした公立建成小器模の新築起似は

[元山] 府然局が今年度から新設 元山德成校新築

丹芝麻一帯で五千四、英門がして山林線に差って来た、秋とて山林線に差って来た、秋をした大赤坂十数四を見本と

可した 可は大雨のため順没した鍵山、超 のは大雨のため順没した鍵山、超 校舎(十級語)が完成の強之 に関条新規期までに煉瓦造りの新 と実践に進走するので逗踪取得へ たが開入は存り整備県人気空機長 たが開入は存り整備県人気空機長 直三十三町歩も分布してゐる上に 取前のコケモモは豊山郡一届に二 った、新校会の敷地に大和町で目 コケモモ品の触入域から世に出る。成果)関係製

天然の神宮

品明に際し二十九日社会送しを略] 忌明に献金 【理』書

すればこそ?

二十六名の選手参加、樹樹、麒蛄(天安)等十三回翌年時官後上競別の天安建議大安は三十日朝町小坂の天安建議大安は三十日朝町小坂の天安建議大安は三十日朝町小坂の天安建議大安は第一年の第一年の第一年の第一年の

競技豫選會

5加密者の男の無罪を実験3分階 取調に情夫を庇ふ | 統者を庇ひ器員を面喰はせた

餓で頭をやられた後家

のは一般機能の賞賞の的であったでが扱って四十九分六秒で走った 院の李元棣氏(Pa)も殺人り於後ま者多數で盛況但に終了した。 尙成 本人公は形内・里一周一八に酒類 主人公は形内・里一周一八に酒類 痴女、この近頃のんびりした話し 全北校長級異動

汽船天海丸 (三、〇〇〇順) で内

方面の罹災民までも本船三数に乗 急節を傍野すべからずと動起し、平和宣復回館製里部番民は賦村の

「釜山」 前一日朝釜山入港の島谷

狂亂の女送還

助くためには死患見を水中に投げ

難眩で女見を死虚したので難虚を 旦り死躍したところへ本年七月六 ろいよく起訴公判に関係さ 伝統支属権軍分局で取調へ中のと

同人は六年前から同里池文学

**初州 那內南一面松星素階級** 

**海流に押流された** 

村民を救ふ

區長は六十七歳の高齢で

罹災民救濟に活躍

例の迷信から

嬰兒死體遺棄

一大系 山村民副楽二して優 りを無難したが今秋から生虚 りを無難したが今秋から生虚

各郡に捕獲機駅をした結果英させること、なり農地一帶の

一日同郷の艦艦日月山から捕煙郡に属つ先さに参加し、世

『斷の殊勳甲

五老水禍の跡を導ねて

目前朱順南方の忌祭に手仰ひに 《金貞選(ず)一以上何れも假名が

何家の庭で何町金荷都の1

は辺無法院で公利財廷の皆を加へが病まで感染せしめた亦変悪殺妻の林権畑に勝田して暴

親探問金した石川成市幹が野長は「咸県」 五老方面水嶋の跳を降桐

2種の先例によるべきか否かを本

何主不明の狂犬が親にれ通行中の「近く行ふけず 日午後二時頃府内閣水町二丁目に「惣殺した、鉱山鬼では蛭大退治を 釜山に狂犬 【釜山、冊 婦人を解釈せっとしたので直もに

石川警務課長語る 【成明】寺内部除軍協田の郡集 成雨から三名

ら…・前提院からは色・で湾海 ちからうが電音をあの形だらり 上することは関連であったらう 上村常豊の死傷等も生してるた であらうことは現像開連でないた。 であらうことは現像開連でないた。 仲たけさんは元英富学長のと あり七名の子女を抱へて苦聞 は元山佐仲たけ(こ)、河近藤ハツ で伸ばすべく鼻の腕をした。佐一概の戦後関男士に違い歓迎の 2北支行物機動として城南から 一周山根リッ子("ら)のに女が

【成興】安基島内市御歌照事義は 面、那種新茶香附金經高一千五 **赤度に面数六手間、出数部助四** 安邊市街整理 水害でお流れ

【成異】かれて魏王厄扱田中の東

面の災害役割し事教に韓月左告 庭、期底存款的金三千五百百合 英四千頃をもつて第一期工事

で東トラソク国際事大名を授奉し」なは「行の日報は約「懇問の強定」ヘウルンに腕倒されて他に世なか件で鉱山都では朝迦鉱山支店の人「人日元山田城の党献丸で北行した「分布脱跡を見せてゐるが能泳に立作能は「主統公荷物の政を取り事」食代表はから氏を特徴、「行は中「申山耶で新興報採上面にも別賞の【釜山】を扱い荷物の政を取り事」食代表はから氏を特徴、「行は中「申山耶で新興報採上面にも別賞の を依頼して来た。 【大田】京然報で婆の朝鮮純物 工六百名募集 朝鮮織物で女

床もき武人の情 水害犠牲者に對し

単名を動かした長部原長から十七 【成熟】張鼓原事件の現地交渉に 長大佐から弔慰金 百四は罹災者に御分配を乞ふ

2英 水標準配着に対する系数の報告を表す別途会三 イランに対して対した。 が終えているの後数を開発して同じ、 が表示した成人の関である。 が、 を示した成人の関である。 ・ 本書における多数の報告者に対する状況が対しなしたので併では、 ・ 本書における多数の報告者に対する状況が可以立したので併では、 ・ 本書における多数の報告者に対す。 ・ 大きにおける多数の報告者に対す。 ・ 大きにおける多数の報告者に対す。 ・ 大きにおける多数の報告者に対す。 ・ 大きにおける多数の報告者に対する状況が可以立したので併では、 ・ 大きにおける多数の報告者に対する状況が可以立したので併では、 ・ 大きにおける多数の報告者に対する状況に対していていません。 ・ 「ではなる単常を表す別途会三 「行った」。 日成興府尹紀天の如。見舞電報と 現在の威南野祭町長官食殿地は公官舎敷地募集「専門」

文官分限令第十一條が一項領四號 新湖小師 藤井 ・豆 新湖小師 藤井 ・豆

高温い家庭向

チキンライス

する男を大同繁貞が發見能何する 棋里古物商學初中方で卵丸材料網(平壌)三十月午後七時頃府内英

たが問人は形内船橋里八大平場兵

白爾斯縣

作り方 鍋にパタ

11 対 第内五十名 王淑二個 パミー少量 カゴメケチャツブニ合物をあって、窓内と王 をいためカゴメケチャツブを加って 窓をいためカゴメケチャツブを加って 窓をいため角板を入れむかに混合せ器 に載り石上ります

して遊り出したものと判明、倫理

就中生活政界の徹底を指述する

、根本的出直しの悪を認む 全住に亘る全面的統制的の根

**粋下の意大窓義を存する所以しかるに継を意服する處に非常すべからく慣行の改革は維わい** 

さて北鮮水鍋の台、一顆毎にそ

行を良く

から強める

**樹香に数工配可、並に使用承認指** 山成上水道に対しては三十四日的 北支看護婦 

國産トニクム

體狀態を改善する飲み易き、積極的强壯劑なり。 を高め、速に血を増し、心臓を强め、食慾をピクラは身體各細胞に潑刺たる活力を與へ、 態を改善する大スラー・『聖を改善する大スラー・『聖を弘め、食慾を旺盛 本ルモン煙客、精力製造、不思症、肌力減退、四肢冷虧、等結核、腎利質、 非症役及手術後の恢遵期、 新陳代謝障碍、 思麗不真結核、 腎利質、 化紫酢率の低下、 無寒力、 神經薬弱東ではて、 食能不扱、 心身の過寒、 作薬酢率の低下、 無寒力、 神經薬弱

總て一般身

全時有名篇店に吸資す 製 林源十郎 阿山市紙串町 灁 商

最適「決察治の血味」 店商吉友澤藤 社合式株 町修道區東市級大 町水區積本日京京

阿波共同汽船作士机

湯澤爾店

会館受荷皮の中では10ペップ本館の出来の中では10ペップ本館の出来の中では10ペップ本館の中では10ペップ本館の中では10ペップ本館の中では10ペップ本館の中では10ペップ本館の中では10ペップ本館

身体の巨人

あずから東京に開かれる

鮮からの入選者

科學人の雜記帳から

かぐミー

洞と入室里

半島出身の安氏

三周じである。官器も大槌之によりの時間は日本内地(総つて朝鮮)

學る自己 ・展文の機闘誌

七、北京の時間においている。

日由主義のため なは暗躍する群

海方面へロ

の四脚。

**大切なお子様にゼヒお** 

與へ下さい

國美談 魔と眼臓突跳集

春、田中郷代、佐野周二主

映畵ニュース

明春再登場

(関し五所亭



四九八番

御進物用に■戴いた人が■大喜びで 朝鮮みやげる世界好評のの滋養飲料 アンプラ

北流の歌 競女後、

夢 だより





に野機眼となりました

父より救ひの薬 【小な市議時町山城園】

たが、又々的の様な個

ーイタんな、知能の中に企動

糞便の停滯によつて

大體での位

でよい

京城府南大門通二丁目 明治三十二年

植つてゐますが、一般に食水

中でもその歌のなも多いのは便 起る病気は、我々が想像してるた 命の危険にさらされる標が均分して生 新様に便秘が直接門路の原因で

郷するために便通の原領にある館、十数種の活性情報を始め、斉毬の一つためです。これを眺くには、光 これは御承知の道り抜合へ1フきものです。これを眺くには、光 これは御承知の道り抜合へ1フー酸音素中華による影響に発売する 光 これは御承知の通り様合へ1フート しと」の展用が推賞されます。

にすることが大切で、何時に 門脳器で又は旅費者追照として 順内毒素の吸着 量

醫 庭

伯鶴演 恒 

喰合せ と胃腸

で試ま質願を行った結果。 心を飾りるため、紫紫の 「はある」からに現

「柳本家とて、反野に形

賞注目されてきた陽自家中毒の害

タイルの御用は

一中社能株が起るのである群

本店 京城府南大門過 有價證券擔保貸付 迅速に 御取扱数 レルナ 年歐、定期貸付五倍相

でソモルホ

返若姚顺

平凡な普通の

不動産擔保貸付

**貸出業努案内** 



## 考返り化ポルモン 粧配水合

社會式株造釀日

クラブはき自 クラブ美婦グリーム

NN-C

5

**注** 

各眼科病院處万眼鏡責任調製

京城帝國大學御用

できない。 はない はない はない はない はない はない はい こう 一度二・ こう はい こう 一度二・ こう はい こう でおい ない かい に ケラブ乳液でお



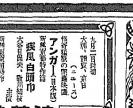
お窓み前の清掃・祭

のとが削り後の転生に一番がのとが削り後の転生で、2数が1時の常識です。 化粧下にクサット がないほぐ見ぶでこ 一部の常識です。 化粧下にクサットがないほぐ見ぶでこ

カら さ云ふのが近代化さんなお化粧もクラブ乳液

化粧下に・ヒゲ剃り





河三 7,00 7,40 7,50 9,10 子頭 龍龍京

お肌が強く美しく若に

返る

館 央 中 医乳头

所對刑镇平

麼回朝鹽

黨

四十餘名大塊來沒 Ħ 亞

開

院展界の女王 都路鈴枝

舍官 **花** 浪 

海を渡る女 海を渡る女 海を渡る女 海を渡る女 大条席金三流道 大条席金三流道 大条席金三流道 大条席金三流道

6.55 2.45 11.00 んさ癖おた出に街売れれ 8.60 4.10 12.25 ドンパズヤジーリェチャー 8.50 4.15 1.10 スーユニ毎 大り売り 9.00 5.06 1.20 葉 副 永り売り (のは) 「飲みスヤンタンドをションノアリス(のは)」 (のは) 「飲みスヤンタンドをションノアリス(のは)」 すまし妻別院に一切は十三十万の現入命で土田・津原館が建 すまし妻別院に一切は十三十万の現入命で土田・津原館が建

日、活、日 E 

生にゼヒ必要

| マセC工生野マセC三人大 |||日戸二野二日一月九 || 元 | 1,58 | スーユニーデバ目師・日前 | 元 | 6,40 | 2,18 | 長任田友 鷲河渡 前敬 | 元 | 7,51 | 3,34 | 11,30 | 者 る 誕 を 図 組 を 図 組 | 7 | 7,51 | 3,34 | 11,30 | 者 る 誕 を 図 組 を 図 組 | 7 | 7,51 | 3,34 | 11,30 | 者 る 誕 を 図 組 | 7 | 7,51 | 3,34 | 11,30 | 者 る 誕 を 図 組 | 7 | 7,51 | 3,34 | 11,30 | 者 る 誕 を 図 組 | 7 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,51 | 7,5

中富平工

新株の

様の競争人和を行った。 入礼者內譯

前途安豫想

温度

33.33

木嶋育だりて到って冷離た、落でけあるが、本府も冷離だし、企利水晩化団鑑で賑やかなここ

るべきものが近く公布される。物徴取職に基本に合こる見做さ

製除立法でも。何がそれを必要 きりさせる調列状がほしい 取載も重大ではあが物質公定の 取載ももつと認識をもめる手段 か調ぜらるべきであらう

(a) (b)

11-40

元、四C 現物人仙三五 現物人仙三五

麥

共文価人分ノ七六四価人分ノ七六四価人分ノ五

河 が入札純検数・四八〇のう落札株 ※ 注意の強っ 100 1八、五〇 大 塚 100 1八、五〇 大 塚 100 1八、五〇 内 海 40 1八、三〇 内 海 100 1八、三〇 内 海 40 1八、三〇 内 海 40 1八、三〇 

~ 急反撥 知鰮風楽し 一時より立會株市場は

このみ質込むことは一考を要す。作も発しいと見るの外ないので、小得三風水害に限られては平年 関東から老陸地方が値付以来所場が翻るかは疑問であるが然上上陽東地方の風水害に連れて用

場立必要がある。 場合の要がある。 秋上げの天候が独社でも収扱に作に及は主政治が大きい群力がるられい味に之れから颱風はで

すっている。
 はいます。
 はいまする。
 はいまする。
 はいます。
 はいます。

非勝充安ひたいこと、したいこのはスパリスパリとやって退げてはしい

る、信任だって陸巌郷力の吐け、潜くところの見渡しはついてる 出來でゐるはずだ

碌の猛攻奏功し汎家山一帶の敵陣地を粉碎突破、一日未明を期し尖山に向つて總攻撃近の諸陣地に肉薄、一日拂槳氷猛烈な爭奪戰を演じてゐる、牛頭山方面においては飯 **江一日同盟特派員』馬鞍山攻撃部隊は三十一日夜暗闇に乗じて馬鞍山西方約一里額公** 

火花散る激戦を演じてゐる

繋を開始し、激戦奮闘の結果午前八時三十分頃遂にこれを占領、山頂高く日享【九江一日同盟特派員發】彼塚、津田の各部隊は一日未明を期しご强に死守する

方東孤嶺攻撃部隊は曉聞を衝いて突撃を開始、東孤嶺四峰のうち第一峰を奪取し奏り

峰の敵陣に對し男躍進撃中であ

徐州會戰以來の大殱滅戰

議は三十一日を残と共に

機點に猛爆 家洞附近の

かくて倫州大磯城城以来が成日にして「山飲の敷設」を・・・では武波攻略開始以来が成出した。「寺城、人見を認識の可聞・「神武なないにはによって原理近米安ことをできませた。」

の敵軍を包圍

田、木島、市岡、各部隊の前面の一般戦地盟強行突破により田中、国

出各部家

鞍山の蘇堅陸を攻撃中の梅田部諸漢城にて「日岡盟特派月鞍」

織竹嶺占領

**東洋一を誇る** 

北京西部飛行場竣工

に歴大に残工式を駆行 路は龍五米、延長九百五条の間形でその中に滑走。同飛行場は底細一千五百

山上三鷹版を交へた後、

双備を続つてこの標定了1

同盟『鷹山西麓の頑敵を蹴散らし南進中の寺垣。藤岡、太田各部除は一日午後三時にめ力の下に午後三時曹家坂を完全に占領し日章旗を縁した。さらに追撃の手を緩めす敵を南方に驅逐、一日正午途に河里余村の要衝を臨れ、1ける人見、寺垣、藤岡の諸部隊は拝崩を打つて山を下り、徳安街道の平地に驅け下

太田各部除は一日午後三時徳安街道の敵の重要

| 「原州・二 日同盟 | 我かか、高 | 歴史上妹字郷に一日地館我が東の「原州・二 日同盟 | 我かか、高 | 歴史より攻戦を終れませて推想にる。 程を讃楽したが戦節美を含すれば、戦争を変たが進るのでまりが難ら変に対して構造なる。 程を讃楽したが戦節美を含すれば、戦争を変たが進むのできる。 一般に対していて難に三宮六十の先を中より攻戦を開始したが戦闘がある。 | 成州・二 日同盟 | 我かか、高 | 歴史上妹字郷に一日地館我が東の「原州・二 日同盟 | 我かか、高 | 歴史上妹字郷に一日地館我が東の「原州・二 日同盟 | 我かか、高 | 歴史上妹字郷に一日地館我が東の

姚李廟を占領

**八見、寺垣、藤岡部隊猛** 

が坂を完全占領す

上掲った我が〇〇郎際は息かを以て遊河北岸一番地區

2年の渡河駅境頭鎖(磯湖鉄製造)た映地・緩縞シヤンタ等を観撃こく巡しなく三十日半後五時費河」で東戸鉄湖域地前近に横来せる駆励 総改と呼服して野福剛地及び有力な機能が近に正理を輝らせこれに機能的打撃を頂、た、また荷橋 属山を殖場。 下村・田中・郷でお流のこ。神口 1888 下村・田中・郷でお流のこ。神口 1888

て岩が強調が附近に機能せる

直井

武

夫著

世界計畫經濟等

計畫經濟

經濟係判檢事

が○○部隊の主力は引續き盃縣の敵を攻撃

温際に入城す 『全路阿は一番 『石家和一日同盟

を完全に確保

一日午後六時威風堂々入城した

(語に歯方に向って敗走する)敵を並む果敢た爆戦を加へて多大の打撃を奥へた

民衆に機關の及ぶを供れ三十、三 至ったが、第三國人及び一般支那

**繁**院

新編 十十 十 十

众世界計畫經濟・全六卷・精細 監禁

日然科學思想

開 中村大尉、五十歳友 し今や完全に放戦が振火をに が渡すジャンク単の帰路。全に海神と我からの部派に大脚 に教し対象を行び破離。全に海神と我からの部派に大脚 一次に第一次世界の帰る。 一代地に第るべく滅戦の役前を発す。 「一代地に第るべく滅戦の役前を発す。」 「一代地に第五代・大政からの部派に大脚」 立退を動告 法相官助管護国に開会、まつ課 教徒な問題一日は一日子前も

**清津で總督と會見** 張鼓筝事件で種々説明

(論に於ける新博様説と新生氣説の對立、生題論の攝う策を對象としての生物學に於て、廿世紀的關心としての謝本や、量子論による因果律の罰念の傳本、有個

高調査は、「日平前八嶋半叔一時 十一時半近職を出て直出た」と演提 加川 製みと「同境地域を充守」 にて重塩 氏度でお食び日来たこ 力師。製みと「同境地域を充守」 にて重塩 氏度でお食び日来たこ 力師。製みと「同境地域を充守」 にて重塩 氏度でお食び日来たこ の は現をして維持に対方。 直っに単 國際ホテルで剥食、少無定抗機致 制設建して維持に対方。 直っに単 國際ホテルで剥食、少無定抗機致 制設建して維持に対方。 

本府野務局では既報の如く11日と

房推考 書き下ろし新原稿の單行出版

、陽と薔薇

開催

高等課長會議 二日

理想の

・ロマンチストとして記せられる。三の名は近代日本の生む八唯一の仲岡倉一雄・岡倉古志郎編

四內容見本進星也紀思想,既刑分寶化 臨 小泉 円

産業部長會議

イギリス 政府の見解

真 夏 の 日 本 海 中谷宇吉郎 東・G・52世 本学 5時 の 生活 様式(辞職) 森 山 啓 東 時 の 生活 様式(辞職) 森 山 啓 東 山 啓 東 山 下 和 性 人」・三木渚(偽作哉)・54、・・中川善之助 生長する知性人に藤 バスの中……伊藤永之介|波 劇 放 談…郷山上はが 記 仕事の歩調 澁川 驍一經経過は地所ゆき… 平林彪吾 智慧の東洋と西洋

葉山

石川三四郎

武士道の許さぬ ズ黨の受否が問題 ツコ側の譲步と たことと思ふ、これは安那部ともは日本の質力を充分認識

芥川少佐、宮水大崎、朝鮮選長隊 を陳んで朝鮮寅司会副小松平佐、 を陳んで朝鮮寅司会副小松平佐、 東架中の戦を鞍押機関又田中少佐 通用主張らけ一日千枝三時から合郎朱田大尉、同田連盟官、本

5〇〇部版上资票设置全国主要

鳥帽子山急襲

|議部隊は破骨の機を以て前連、真の壁域を試験した破場、非用等の

日间題】 | 日早期 | 学山

所作の凝除地を突破、正空項上で「てる肉卵膿を凝してある」。銀の階等を閉じ熱砂を壊って連盟「て前進、前の反響を損撃

第一端を攻略した東が部隊は三方 なためその歌を輝く、これを占領した、又東海線の ク並に利着が軍用に襲、これを占領した、又東海線の ク並に利着が軍用に襲。これを占領于山及びその西南方が地を全 力面に引指げつつあ

省を精ぶ大規模が鑑賞販売計載を

こして微泉・

西縞店を占領

咸北道の農作被害

詳細本府から發表さる

欠鍋會長

報國會に於る

のものですが三ヶ月で

腰品回收の狀況

授産事業化の可能性充分

朝鮮牛の囚地移入

最近急増の傾向

用品需給に就て

關係團體の代表參集 隔意なき意見を交換

臨見當を慫慂

大藏當局の方針

鳩居堂

京城驛前 セブランス病院 ンス眼鏡部

南鲜代船田帆廣告

漢江畔南山眺望絶佳無二の理想郷

新州岛行 保日午後九時 保日午後九時 化二、元山川机 行名港遊艇和月午低五時 日本 近山 村 ( 全行 ) 月廿回至夜十 益 山 行 ( 全行 ) 月廿回至夜十 

醫院經

十番地ノ一

普通銀行業務『無事報行作課題 年賦定期貸付』 日本典報報行機器

京城本町 一丁目入口

坂井

満

出超四百八十 輸出入共格段の躍進 輸出入品價額(

机舍式株植画和昭山馬

粹;学科 酉清研理

n n رو<sub>ر ال</sub>ا او 作ググ如トル機械品グルグトレレトト)

んげ捧に鶯荒

ーのこ

杯

限ン

産商會

窓山府宮平町以の 協 側 町の府大倉町二丁目

夕刊後の市况

では、日白会

堂々列をつらねて増水のクリークを傳ひ漢口 前進する○○部隊 (廬州) = 航空便

經濟の方向明示 產業部長會議·南總督訓示

から、更らに日崩支程所ブ

似に支店あり丁四ケ所並に内で地に支店派出 **座銀行** 繁

各粒クル

起ラ全鮮青年期

光学を示してるる、十九、

\*\*\*\*全鮮の平均より良好 続後半局をガッ |全部・大阪、平均豊重は四五・ か見城でに五七・五といる情報

(金) 第七日廿四日 (土) 郭八日 十三日

は橋数二万十四頭に上る連物能ひ

日(親日)你四日十月二日(日) 野二十九日(木)第三日十月一 野二十九日(木)第三日十月一

際學博士

放 青 海

の御祭を許言奉る切する場合」又は「皇後

「國歌」を耳にする機

は空菜式、終始菜式と

然らば、當時より数 ることもある。又は其

配動に信用する場合

丁目 (本町明治屋横上り入

青年團員の體位 小明市要から報技(織球、飛球、排

全鮮中等對抗

朝鮮代表凱旋鮮滿對抗硬球

明年は八月下旬京城で舉行

大綜合競技會とす

丁目七 立

中央中、以上延人員二百四名一一の大中、京工、景緒中、高成質

**强跋峰**皇軍想問金

尿城は十日から開幕

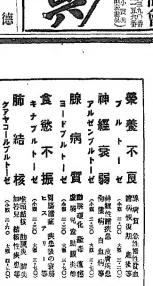
献金や白衣の勇士招待も計畫



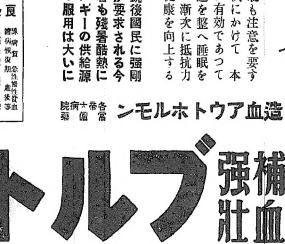








B 1360



叉非常時下

のであるが

日 一般健康者 の精神と体力が

として 本剤の 抵抗するエネル



打撃に入る頃に

ンド評も賑か

遊撃の補強に何よりも舌心

合名會

食慾を進め便通

漸 r

**劑の常用は誠に** 

る夏季より初秋

も注意を変

体力を强化し健立

⑥ 流行卸付本革靴三ツ卸付短靴

の大学のプレンチ型編上靴 **虚弱衰弱者が最** 

三十九錢也

◎\*\*\*\* ブル型本革編上靴

七四二十级

星通代無「泉源の酗酒」子冊 店商吉友澤藤 社會式株 时門小西府城京 町本區橋本目市京東 町修道區東市阪大

路にも「子供一人に開始数一本

一直 はいずい 「一世」 異版を連告 一直科登に御育分 二世 「異版を連告

代りに歯痛が有り其の為に分娩が

月及び九、十ヶ月頃、田本る

んですべき事でに有りませ

け避けるのが好いのです。 別に恋支は有りません。三四ケ **航城中の他の治療ですが是も好っかります** 

時に其の症状が消退してしまるもの症状が消退してしまるも

姙娠と歯牙疾患

遊録すると触か思くなるとよく民 遅れると云い中も有えたらです。 ので有ります。極く特れに限縮の

くい場合に原因で明の「事質に構でありますが限し、不明しむか時と韓確が起りま」はれますがそれに統計的にも大観

三、言葉があります。何度

今から婦人一選手疾患に就て少

月經と齒牙疾患

にもやがて切りた御度を覚旋することになる筈で目下破場 て致ることになりました。母、スプにかりでなく、細胞樹止し、洋服地荷標三十キールを一巻をにして必要だけ切っ 物に布地に無駄を着くため、商工省では今までの反政を膨 | 毛織布に前数のため関策によって増産中のオールスフ機

商品知識の不足から

遊勘) か口腔粘膜又は舌に出來

か多い様です。黄眼から出血

びに依つて起えのであります。

極めて不穏然なので、これが、す えた人には不足し、生さい人は布」 地かあまつて困るといふやらに、

するこれでする、非常で紹派にたり

その刻も方、穏び方も従來のやうな無駄なほびこみのないをいそいで居ります、和服も一反で買にねことになると、

るのは人間で、今後に落丈もつい い文けんすれば、先八小山、二丈

◇の長さがきまつてあるので、別一だけ求めるとなれば、節刻を考への小巾物◎ の反動では1 | 成も特局でこにあるのです、必要

先で第一に……

間の評判の良い店で

貫ふがです。解料

手に物を買る事が、味に必要に|

上手な買ひ方七ケ條

なつてまいりました。上手に物

一覧ふには、とうすればよいか

【第四局】

(图に書七五四形迄の局面) 最松和

步

常時たるの意識を一人でく窓 党要節数の難に持久が理へ、 の良い店は、とこかに特長を持 つて居ります。例へば、品物の に居ります。從つて商品の頭別外の良い店は、比較的数策 迎つた良さを持つて居り

買ひ 用しない品物を受ふなけ、質 なる信用する事になります。 の物をするとは異はうとする品 分の信用して居りまで店で、 と行く内を信用さ の事が大切でする

時への耳波だと思ひます 事です。1にも11

から奴――・・・・へを関で 然

投資元

日本構匠本町三ノー

田

短音三本人(珠 町 用)

ウラルゴールの種

類と價格

カベー財の円七五

ルの四等・アメルト略 個位名あり、ウラルゴー のの回等・アメルト略 日都によるり。 若し品切れの 歴史 デバート略 日本の 一次 は小性 では 一次 はいませんの 日本によるり、大山の田は大きりたし では かいになる ロッカー になる ロッカー になる

Ħ

00周1 

本がこの漁場に はなかつた

事方銀の甲指揮を提げて七筋に | 打つて田れば、松下氏は、

檢討すべき變化手順

戦記

食 饭塚勘一郎

も、あの店で質物をしようと

牛皮

皮の代用品集の一般の三軒安穏度、職人力との使用紙版で今一職く、間つかず、軽くて相 三中井代用品展か

か高にれますが、圏を銀げての非常時と思へばセクト

上の名は仕銭前後のウェーブ無しで、ペーそのものを生かし をなし、V字形のカールにプローチの大きなので新味を出して もの、下のは情観別後に御方がやはり後にゆるやかなウェーブ 者言と消ぎをしのぶ気に独自の花をあしらった

名物は十年前流行の市松楼様でございますが、着こなしの要

◇適當の◇ 無かったの 茶道の。話……所

## 雅の心を規範とし 學ぶは和敬清寂

比各種類別々にすること は田米ず

四、子ファイルーつ!十月 ひます、価格・子ファイ

政事ですとこの扱う方で続い分が

不自在魔主 前

様は一通り茶の近を遊ばれた

淋菌は感染早期は尿道は

4版の表面を蠶食しつゝあるも、

と再發

○西鮮航路 ○西鮮航路

こ去ふ婆を得るのであり

の外物に誘はれて強くこ

一族で便利な研製の『ファイル』 ファイル 便利な

しく考案された製品は省ファー

|、一帯的で更生の日本とものも||数山 | すして自己の反省複響をあり散で | 室に対し奉り、患者数國の説を設 に、日常茶板、私共の日常生活以外に茶の巻は在事を現けずの。繊細してもらへばよろしいので、 日常茶饭 神は或る時は我國民の中心たる品 よろしいのであります。私典は世 しく問ひのある明明な人生をうな 字に歌しますのは、これは茶に 現はしましたのに和数所収の四

姙娠中は避けた

柳文は、元殿横にしますが、此 で代で一ばいに続ひます。

いいりことしがが先につく位

婦人と齒牙疾患に就いて

京城齒科醫專附屬院長醫學師士弘

茶道に思有受闘にあるとか、短 ス素の一面なのであります 風雅の心を高めます。之際は日常 共競感に心を指的藝術を鑑賞して

> 重ねて申します事は解幕時代的の 孫近朝を捨て、新らしき見方

する淋菌を撲滅し、真に こ 1 に鑑み、男子淋病の

心研究の結果、つひに創製したのがに再發を防止すべく、各専門家の指導

根源たる尿道粘膜の細胞組織下に谐

○宋五行 化南部市 日 仁川太日 | 新州 | 日 (東海州 日 七川二日 | 新州 | 日 (東海州 日 七川二日 | 新州 | 日 (東海州 日 七川二日 | 「東海州 | 日 (東海州 日 七川二日 | 「東海州 | 日 (東海州 日 七川太日 | 「東海州 | 日 (東海州 日 七川太日

ルゴールである。

「劉るのである。 とでは一道一退をついけ、つひに解疾は不治し、神勢は一道一退をついけ、つひに解疾は不治し、神候の變り目無に、または患者が飲慣を

がありましたなれば、今一度指

栗、注射薬等にては、到底

類本的に全治せす。

困難となり、内服薬、洗滌薬、

注入

今 寒 丸 仁川九日國南部十日 原本派演賞(全市台)仁川 — 大 東市之間、仁川一七川 — 大 仁川 — 上海川岸大川、特等(並等) 一 佐朝、航路案台坪通基

月三日韓南市三日参山12日

二百大 連九月四日

その治療法は却つて

間を過ぎたる時は、亜急性より慢性症に移行し、疼痛は減少す に粘膜の側管及び深層に潜入す。故に淋疾は感染後、三、四週

元教補は、江戸時代には非常に一等合せ、

のが茶でありまして、畝質など 茶を學ぶ

便数の安い物を買へば、 長持いしない物の行 に心掛ける事です

分

作です、商品知識の無い気めた つ事を作べ大切な 事です。必ず他切

に對する知識

つて多少でも安く買はらとする

以上述べた事は確大難い事でも

で進多くの方々が、どんなに大

高台、必ず品数が盛つて 云ふやらな喉を聞きますが

> るもよく、芸芸版の古野があれば 他に豆酘カラを水にまぜて用ひ一熱いのを熱い帯奈

将来を持へて買ふ事|

の唯一の一族度だと、思ひます。 型的数の関節観に指った消費者 くてはなりません。そこで上手 [物靈亦三治教命教 黒胡麻の皮は 京を かうしてむく

どは、一度強がつくと、布成で擦 た位では配になるだけで強んだ 一や壜の磨き方 深いコツブ が無いコップや項な 青野菜で白い材料には自初度の方胡椒脂で胡椒和へにする場合、

かむいて用ひるとよい。 無い とに自制順がない時は熱制限

佛

URARGOL PARAGOLANA PARAGOLAN 

(作成を) かりきま 水神河 (作成を) かりきま 水神河 (作成を) を できる 水道 (作成を) (の) が (が) が (の) が (

許法

英

成九月一日 清州二日 元山 養行籍 (元山 = 1 名 日 唐 山 ) 養行籍 (元山 = 1 名 日 唐 山 ) か月月三日 青州二日 元山 両 が月三日 青州二日 元山 両 に行 (元山 市) 一 に行 (元山 市) 一

作 級 丸 作 九月大日 元自三日 浦東京日 東 近 丸

して粉末とし、この粉末を直ちに溶解す既深逸性に高む色素劑とを、化學的に結盟に對し殺菌の強大なる特殊の張劑と、樂にあらず、また勿論内服薬にもあらずやにあらず、法人勿論内服薬にもらず、注

の最近に、注入薬の如く二三分にて外部のまま徐々に治解が消しつい、 大に、注入薬の如く二三分にて外部の形はに、注入薬の如く二三分にて外部のが故に、注入薬の如く二三分にて外部のが故に、注入薬の如く二三分にて外部のが故に、注入薬の如く二三分にて外部のが故に、注入薬の如く二三分にて外部のが故に、注入薬の如く二三分にて外部の管をしばし、 ある。

漢 娥 九雄集尤耳大百濟淮芜目

野期前別

金剛山鬼雄県九月十日曜津十日

先日 智池宇宙 元山昌官

省 海沙人目 元中二日 台元中日 研究官 一日 光山四日 加州六日

海、尿道粘膜の側管及び深層に滞在すたり設置深速作用を持続する點が、質にの対象明質値に、されば感染早々ルの素砂明質値に、されば感染早々、水の素砂明質値に、されば感染早々が、できない。 桑 歐 洲 行 行 土、「リブル・論教・一地、大連、セブ・マカツサ地、大連、セブ・マカツサー 九、老山護 九月廿三日

沙市行 镰洲行

見々の患者には、短唇を使用されたし。 、中変の水ぎに長唇を使用されたし。 、中変の水ぎに長唇を使用されたし。 、水・菜に中唇を使用されたし。

療に奏效するのである。

應

淋菌をも殺菌し、排膿淋絲を消退し

関作用は一本にて三時間より大時間)用に要する時間、一本僅か二、三分)採用としては一日一本或は二本使用の事)

日 対象の指数もまた本島の大なる特技である。 之 等の結婚もまた本島の大なる特技である。 之 等の指数もまた本島の大なる特技である。 と

**以無理論。** 

、淋疾に對する新治療方針を得られたし。は頗る簡單安全なれば、未實驗者は速に之學病院を始め著名の泌尿科專門醫に賞用さウラルゴールの效力は益々認識を高め、現

は、未實験者は速に之を使用の泌尿科専門圏に賞用さる。使用は益々認識を高め、現在にては

大和和阿漕部大和和阿漕部

抱起在一些就

(即毎代用は一割増 )(前金荘女は送料を要)

○大建行
○大 海 九 九月四日出机
有了他各方面行应時度船可致恢明
有了他各方面行应時度船可致恢明
有了他各方面行应时度船可致恢明

日鮮海運輸會社

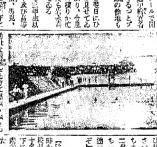
無者中座・東京・一九三八田 合 資 會 社

**江原道内の生徒兒童一齊に** 

7の育成に改乱版なきを期う。 資を周知能職せしめ更に息で 発加 3 始興地では教育含改王

残りは僅

4華消防組 夜講習會



現代を出の では、

人婦

個定 が世代の対象により が世代の対象により の分別のの分別により あるない あるないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではないとしている。 ではない。 ではな、 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではなな。 ではなな。 ではな。 では

始興郡の調習會

趣旨徹底

世界三四九人番中では「一世界」

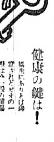
四五八个名的間合

東華洋行

商會へ 振院 宮亮吉 三府 〇壽 番町







料料

1該切り向入中久縣側施皇 ・ や端屋を抜いて目(側層階階)自動車を選ぶントネル省(値子組建予許と文本校(楽レ管等規律対理整件数台 總督京城第一自動車學校

果本所長の温情に感泣

罪を洗つて出發

▽大正八年豊利勲和一ノ正式取及豊子浜式境準開棚度大売保託放奨書牌和完全豊安間放奨部ノ他デリーのでの表現を開放機能の他デリーのでは、「日本の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の 

松香人用现件照片

京城山服所

では、 のでは、大いでは、 のでは、大いでは、 のでは、大いでは、 のでは、大いでは、 のでは、大いでは、 のでは、 のでは、

女子事務員採用

感説した晋州支廳職員の情 焙しや銃後を護る

川商議選撃、案外好戎績に終る

割七分

病專門

日案內 女中 教 師 常語が変む が同様 市大円型・丁目・ス 大同型・では新えな

成少し での機様な方を 直域までの機様な方を

女店員採用

郭鮮製綿袋會社

東 女子 事務員採用 東海に参り自然のおりませます。 東海に参り自然のおりませます。 東海に参り自然のおりませます。

翻 \* 部分理学的共政分配 前宫天水圆檐本日市京农

.

聖戦の目的遂行の爲には先づ如何なる 図苦にも耐え得る强健なる身體が必要

あ 暑

I÷. 時…等に

は

がれよ

必ず二三粒を服用し病氣を未然に防

(先着五十名樣 限リ

畏し御聽取遊ばさる

王殿下

殊勳の第二位に推薦

伊太利の国際映畵コンクールで

震災追憶の日

冤罪の一

平岡內科醫院

**禾だ出獄せす** 

# 流に否まる

(何)高橋麒太郎 (新湯)

北海道

百囲から一萬圓迄の金儲けと利殖の早道

電話本局三十四番

N. MA

Tタイサンモ

師オメアントンキ

日うれか スキデス

計鬥式採集製化並

▲健火に競ぶ岩人熟練工造成所(東京)▲兵站を

京日世界發摩ニユース けふから明治座、浪花館、黄金座

健氣に語る三將校の遺族











思って、女の人は「十年」身

「戦争が十年つらく」と

も心も若くして下さい。



も經濟的に

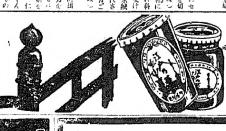
そして元氣でゆけば、十

へいちやらでせう。

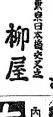
のきれいなので。且つ、最

けばくしくない、

ヒフ













〇に上陸の〇

竹下俊平大尉

名譽の戦死者

表表次四

無難風景 谷口佐牟(古城)

銃後の副業、蚁線

海龍丸坐礁

八月中の火災激減

けふの天氣

方绒永纯町

